

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学医学部腫瘍内科学講座では、本倫理審査委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご協力とご理解をお願い申し上げます。

平成 30 年 10 月 福島県立医科大学医学部腫瘍内科学講座
講座主任 佐治 重衡

【研究課題名】がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究

【研究期間】平成 30 年 10 月（倫理委員会承認後）～令和 10 年 3 月 31 日

【研究の意義・目的】

平成 19 年にがん対策基本法が制定され、がん診療均てん化のための方策が多角的に打ち出されています。しかしながら、その対象である診療実態を継続的に検討するような体制は未整備です。原因の一つはいろいろなデータが独立に集積され活用されていないためと考えられます。そこで、本研究では、腫瘍の部位や組織型などがん患者の情報が集積されている院内がん登録と患者臨床情報や診療行為からなる DPC の一元管理を試み、がん医療の実態を把握するデータベースを構築するとともに、その活用法を検討することを目的とします。

当院はがん診療連携拠点病院に指定されているため、本研究に参加し、構築したデータベースの活用法から得られる当院の標準診療実施率を把握し、厚生労働省がん対策基本計画書に関する PDCA サイクルの実施と計画の推進に役立てることを目的とします。

【研究の対象となる方】

2024 年に本学附属病院において、がんと診断された患者さん。

【研究の方法】

・上記の患者さんの、2023 年 10 月～2026 年 3 月までの DPC データ（Disgnosis-Procedure Combination と呼ばれる、診療データ）から氏名などの個人情報を削除し、代わりに院内がん登録で個人情報を削除した際に置き換えた専用番号をつけて匿名化したデータを国立がん研究センターに提出します。

このデータに含まれる情報は以下のものが挙げられます：性別、診断名、診断年月、初回治療方針、ステージ、施設名、入退院年月日、診療明細 等

- ・国立がん研究センターにてデータ収集・解析を行います。
- ・研究結果により、当院の標準診療実施率を把握することができます。この結果を診療の継続的改善（PDCA サイクル）に役立てます。

【他の機関等への試料等の提供について】

ア 国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部、小西 孝明へ試料等の提供を行います。

イ 国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部、小西 孝明に提供される試料・情報は次のとおりです。

・情報として DPC データを提供します。このデータに含まれる情報は以下のものが挙げられます：性別、診断系、診断年月、初回治療方針、ステージ、施設名、入退院年月日、診療明細 等

ウ 国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部、小西 孝明への提供の方法、手段は次のとおりです。

・通信経路を暗号化した専用のシステムを使って国立がん研究センターに提供します。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者 腫瘍内科学講座 主任教授 佐治重衡

研究分担者 腫瘍内科学講座 講師 木村礼子

臨床腫瘍センター院内がん登録室 主事 松浦範子、菅野信子

研究代表者 国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部 小西孝明

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学附属病院 腫瘍内科学講座 木村礼子

電話：024-547-1111（内線 5660） FAX：024-547-1411

E-mail：gtouroku@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学附属病院 腫瘍内科学講座 木村礼子

電話：024-547-1111（内線 5660） FAX：024-547-1411

E-mail：gtouroku@fmu.ac.jp